

大会規定

- 1) 2016年度の全日本軟式野球連盟規則にもとづいた淀川河川公園秋季野球大会規定による。なお、グラウンドルールは、試合開始前に審判員から指示する。
- 2) 審判は、本大会本部が委嘱した審判員が行う。
- 3) 試合はトーナメント方式を採用。
- 4) 一回戦から準々決勝まではコールドゲーム制を実施。3イニングス以降10点、5イニングス以降7点差でコールドゲームとする。
- 5) 一回戦から五回戦までの制限時間は、1試合90分（プレーボールより80分を過ぎて新しいイニングスに入らない）とし、同点の場合は最終メンバーによる抽選で勝敗を決定する。
- 6) 準々決勝の制限時間は、1試合90分（プレーボールより80分を過ぎて新しいイニングスに入らない）とし、同点の場合は次のイニングスからタイブレーク方式で決着をつける。また、制限時間内であっても7イニングスが終了した時点で同点の場合、8イニングス目からはタイブレーク方式を採用する。タイブレークは最後のイニングス終了時の打順表に従って継続打順とし、その前の打順選手を1塁走者、1塁走者の前の打順の選手を2塁走者、そして、2塁走者の前の打順の選手を3塁走者として、一死満塁の状況より開始する。
- 7) 決勝は9イニングス、準決勝は7イニングスまでで、制限時間、コールドゲーム制はなし。規定のイニングスで勝敗が決しない場合は、タイブレーク方式で決着をつける。
- 8) 降雨、日没などで試合の続行が不可能となった場合、5イニングスを終了しておれば試合成立となる。
- 9) 試合球は「ナイガイベースボールA号」を使用。出場チームは、試合開始前に大会本部へ2個（ニューボール）提出しなければならない（試合後返却する）。また新たに、ニューボールを補充する場合がある。
- 10) 本大会で使用する金属バットは、J・S・B・Bの記号が入っているバットのみを使用を認める。違反が発覚した時点で、そのチームは失格となる。なお、バットリングの持込は厳禁とする。
- 11) 出場チームは、帽子・ユニフォーム・アンダーシャツ・ストッキング・スパイクシューズなどを統一しなければならない。また、プロ野球経験者（育成契約、独立リーグを含む）は、1チーム3名以内に限り、投手では出場できない。
- 12) 打者、次打者と走者及び1・3塁ベースコーチは打者用ヘルメットの着用を義務付ける。打者用ヘルメットは同一の意匠、色のものを使用し、危険防止のため、出来る限り両耳付きヘルメットを使用すること。また、捕手は捕手用ヘルメット、マスク、レガース、プロテクターを使用し、これらの用具は全軟連公認のものを使用すること。

- 13) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了している場合は、予定時刻を繰り上げて試合を開始する場合がある。各チームの代表者は試合球場に着いたらまず受付をすませ、予定時刻の30分前には、メンバー表を提出すること。メンバー表の提出がなき場合は、第18項を適用することもある。
- 14) 試合開始時刻になっても9名に満たないときは、審判員の権限で“試合放棄”を宣言、相手チームの不戦勝とする。これが両チームの場合は、いずれも放棄試合による失格となる。試合開始時刻は、原則として「日程表」通りにするが、試合の進行上、多少の変更もあるので注意すること。
- 15) ベンチは、若い番号のチームが一塁側。先攻、後攻は、ジャンケンで決める。また、試合中のファウルボールは、攻撃チームが責任をもって回収すること。
- 16) 大会本部が天候、その他の事情で日程を変更することはあるが、チーム事情による試合日、試合時間などの変更は一切認めない。
- 17) 判定に対する抗議は、監督（不在の場合は、監督代行か主将）に限る。
また、監督（上記と同じ）はベンチ内禁煙をメンバーに徹底しておくこと。
- 18) 上記の各項に違反する行動、もしくは大会運営に支障をきたすような行為があった場合、警告、退場、または没収試合などの処分を行うことがある。なお退場者は、本大会の出場権が剥奪され、チーム登録選手から抹消される。また、退場者を出したチームは、次年度同大会の参加を認めない。
- 19) 今年度の秋季野球大会ベスト8チームは、次年度同大会の出場権が得られる。
(ただし、大幅な選手変更及び新チームなどはこれに値しないこともある。)
- 20) 淀川河川公園野球大会運営協議会が定める「チーム審判員」に登録・認定されたチームは、応募多数の場合でも次年度より本大会へ優先的に出場が認められる。ただし、「チーム審判員」とは、事前登録した上で、審判講習会など同協議会が実施する行事や本大会に審判員として参加し、かつ同協議会が認定した者をいう。
- 21) 本大会は出水期にあたる為、台風等で長期間球場が使用できない状態になるケースが起こりえる。そのような時は、主催者が中止などの判断を下す場合もある。

《注》※ 第一試合に当たっているチームは、雨天の場合でも各球場に行き、審判員の指示に従ってください。

※ 各チームとも、出場メンバーは勿論、応援者などの健康状態にも十分注意を払い、事故のないように心掛けてください。

主催者は、応急の処置を除いて一切の責任を負いません。

※ 大会参加者への傷害保険は、主催者側で加入しています。但し補償限度額を越える手当及び損害関係その他の補償に関し、大会運営側の各団体は責任を負いません。

※ 雨天中止などの開催情報を「サンスポアナウンス・ドットコム」(<http://sanspo-a.com>)でご覧いただけます。ご活用ください。

以上